

本学と静岡大学による博士課程共同教科開発学専攻が来年4月に開設へ

国立大学法人愛知教育大学と国立大学法人静岡大学が博士後期課程のみの共同教科開発学専攻設置について2011年10月25日、文部科学省からの設置認可を受け、両大学長による喜びの会見が両大学の間地点である浜松市内で行われた。

松田正久学長から、「わが国の国立大学法人同士での共同博士課程設置も、教員養成系での共同博士課程設置も共にこれが初めてであり、大変嬉しく思っている。中央教育審議会等で修士レベル化について検討されており、国立の教員養成系大学の使命として、教員養成のアップグレードに取り組みたい。チャレンジする気持ちで頑張りたい」と4月開設に向けて意気込みが語られると、静岡大学の伊東幸宏学長も、「産業構造や社会構造も変化してきている今日、重要なのは人材。現場教員を教える大学教員を育て、地域の教員の養成により一層貢献したい」と抱負を述べた。



共同専攻は愛知教育大学、静岡大学それぞれの大学院教育学研究科に設置されることとなる。それぞれの大学の特色を活かした共同教育課程を組み、同一のカリキュラムで進めていく。現職教員や社会人でも休職することなく講義や研究指導を受けられるよう、基本的に土曜日、日曜日、夏休みなどの長期休暇を利用して講義・指導が行われる。2012年4月の開設に向け、今後は、11月以降に学生募集要項を公表、来年2月には入試を行う予定で準備を進めていく。

■写真

上：会見の場で握手を交わす松田正久愛知教育大学学長と伊東幸宏静岡大学学長

下：専攻について説明をする本学理事ら

(なお、詳細は次号の愛知教育大学ニュース「AUE News」第27号[2011年11月1日付]をご覧ください)